

大項目	重点項目	項目	平成22年度			
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化						
		(2) 経営改善支援				
		経営改善相談・支援機能の強化等	平成22年12月末現在、弁護士・公認会計士・税理士・中小企業診断士の外部専門家とともに8回・26先の経営支援会議・相談を実施 「東京ベイ経営相談サービス」の有効活用・外部専門家の企業訪問による実地指導			
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底化						
		(2) 事業価値を見極める「目利き機能」向上等に向けた人材育成への取組み				
		人材育成	経営改善支援実務研修(計画作成支援コース)(ケーススタディコース)15名 実務的な内容により職員を養成する融資管理者トレーナー研修他の実施(庫内研修) 全信協・関信協・県信協・信金中央金庫の目利き融資等 講座を受講(庫外研修講座)			
			融資基礎研修...入庫2～5年次の職員を対象に目利き能力の向上のための任意参加形式勉強会(34名)			
			融資実務研修...入庫6年次以上の職員を対象に目利き能力の向上のための任意参加形式勉強会(30名)			
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献化						
		(1) 地域の「面的」再生の推進等				
		環境問題を視野に入れた環境配慮型「エコ」関係の預金「夢定期eco」(宝くじの末等当せん金を寄付)・融資商品発売「エコカー購入」「耐震又は環境リフォーム」時0.1%金利優遇		市川市から「いちかわ子育て応援企業」に認定された。(平成22年11月)子育てにやさしい街づくり推進の一環で、当金庫を含め30社が認定された。千葉日報等報道 これを記念して「子育て応援積金はばたき」を発売。他の商品とあわせて子育て世代を支援。	小惑星探査機「はやぶさ」講演会の開催。千葉県立現代産業科学館・市川商工会議所・信金中央金庫共催、JAXA宇宙航空開発機構の名誉教授、的川泰宣氏「はやぶさの軌跡-いま日本でいけること」(平成23年2月、於千葉県立現代産業科学館)200名来場	
		(2) 地域活性化に多様なサ・ビスの提供等				
		環境保護に向けた取組み	環境問題を視野に入れた環境配慮型「エコ」関係の預金「夢定期eco」(宝くじの末等当せん金を寄付)・融資商品発売「エコカー購入」「耐震又は環境リフォーム」時0.1%金利優遇	環境問題を視野に入れた環境配慮型「エコ」関係の預金「夢定期eco」(宝くじの末等当せん金を寄付)(平成22年6月～8月)	エコプラス融資商品発売「エコカー購入」「耐震又は環境リフォーム」時0.1%金利優遇	環境問題を視野に入れた環境配慮型「エコ」関係の預金「夢定期eco」(宝くじの末等当せん金を寄付)(平成22年12月～平成23年1月)
		NPOへの支援等	NPO法人が建物の耐震相談や診断等をし同法人からの紹介顧客については、リフォームローン等を当金庫で利用する場合は優遇金利で対応	平成22年度「ちばコロボ大賞」(千葉県知事賞)へ応募 千葉県が今年初めて実施する「企業・NPOによるパートナーシップ事業」に協力し、金融機関の参加は当金庫のみ。	平成22年度「ちばコロボ大賞」(千葉県知事賞)を受賞。(平成22年11月)日経・千葉テレビ報道。 企業や学校等とNPOが連携して、地域社会の課題解決に取り組み他のモデルとなる優れた事例に取組んでいる団体を表彰するもの(千葉県HP掲載) 「市川市における安全で安心なまちづくりのための耐震診断」をテーマに、NPO法人住まいるのサポートセンター、千葉県立市川工業高校とともに千葉県知事から表彰される。	
		多重債務者問題への対応		千葉県立市川西高校で千葉県が実施する「企業・NPOによるパートナーシップ事業」に積極的に協力し、金融教育の事前講義を千葉県警本部、市川市社会福祉協議会、NPO法人VAICコミュニティケア研究所(多重債務者問題)と連携し実施(平成22年9月)。高1・2生320名教員20名対象。教材は、金融広報中央委員会発行「これぞあなたもひとりだち」ニッポン掲載	千葉県立市川工業高校(全日制)で千葉県が実施する「企業・NPOによるパートナーシップ事業」に積極的に協力し、金融教育の事前講義を実施。 NPO法人VAICコミュニティケア研究所(多重債務者問題)、NPO法人ACOB A(キャリア教育)、NPO法人こばてい(ボランティア活動)、千葉県警本部と連携し実施(平成22年12月)。高3生202名教員12名対象。教材は、金融広報中央委員会発行「これぞあなたもひとりだち」。	市川市立第一中学校で一年生生徒、358名のうち2クラス合計36名に対し中学校における金融教育、演題「職業について」の実施。 江東区立亀戸中学校で三年生生徒、2クラス56名のうち46名に対し中学校における金融教育、演題「消費者教育」の実施。
		金融経済教育他	市川商工会議所が実施している市内企業勤務の「新入職員教育講習会」で金融教育の事前講義を実施(平成22年4月)9社35名対象	改正貸金業法の公布に合わせて、多重債務者問題改善プログラムが決定され、その中の1項目である「金融経済の強化」(学校現場で高金利の怖さを教育)とも連携している。	市川商工会議所金融業部会講演会の開催。東京ベイ信金経営者協議会共催、元内閣安全保障室長 佐々淳行氏「危機管理と企業防衛」、財務省関東財務局千葉財務事務所長吉野孝志氏「中小企業金融円滑化法等について」(平成22年7月・於市川商工会議所大ホール)117名参加	千葉県立市川工業高校(定時制)で千葉県が実施する「企業・NPOによるパートナーシップ事業」に積極的に協力し、金融教育の事前講義を実施。 NPO法人外国人の子どものための勉強会(日本語強化教育)、NPO法人VAICコミュニティケア研究所(多重債務者問題)、(平成22年12月)。外国人生徒6名教員4名対象。自立のための資金管理の必要性や「卒業するときの私」というテーマで生徒から発表等実施。市川CATV等報道
		中小企業の金融の円滑化を図るための取組み	金融円滑化法にもとづく「金融円滑化窓口の周知」に積極的に取り組んでいる。平成22年5月に市川・松戸・野田商工会議所の会報に掲載(合計1万2千部)。 また、当金庫の新聞折込チラシに「当金庫で事業資金・住宅資金をご利用いただいているお客様へ」という見出しで、金融円滑化フリーダイヤルを周知している。(平成22年5月から累計198万部)	当金庫がコーディネートして、市川工業高校生徒が、地元の祭りに参加。市川南ふるさと祭り、市川まつり、手児奈まつり等全8祭り90名参加等(平成22年7月～8月)	しんきん食の商談会(平成22年10月於：京成ホテルミラマレ) 千葉県内5信用金庫主催の共同企画、全体で生産者62社177商談うち42商談成約。当金庫からは千葉県内9店舗10社が参加。平成22年11月末現在、1社成約2社試験的発注。千葉日報等掲載	全役職員を対象に「認知症サポーター研修」を実施506名参加。(平成23年1月) 市川市と連携し、講師は地域社会福祉課・在宅介護支援センター・地域包括支援センターから派遣。